

# 三田市子ども・若者の意識に関する調査 結果概要 【中高生・若者】

## 1. 調査対象及び調査方法

### ■調査対象

	配布数	有効回収数	有効回収率 (%)
中学2年生・高校2年生	1,067	1,041	97.6
若者 (18～39歳)	1,000	295 (160)	29.5 (16.0)

※ ( ) はWEB回答の数値であり内数である。中学生・高校生調査は、WEB調査未実施。

### ■調査方法

- ・ 中学2年生・高校2年生：アンケート用紙による学校配布・回収
- ・ 若者 (18～39歳)：アンケート用紙による郵送回答又はWEB回答

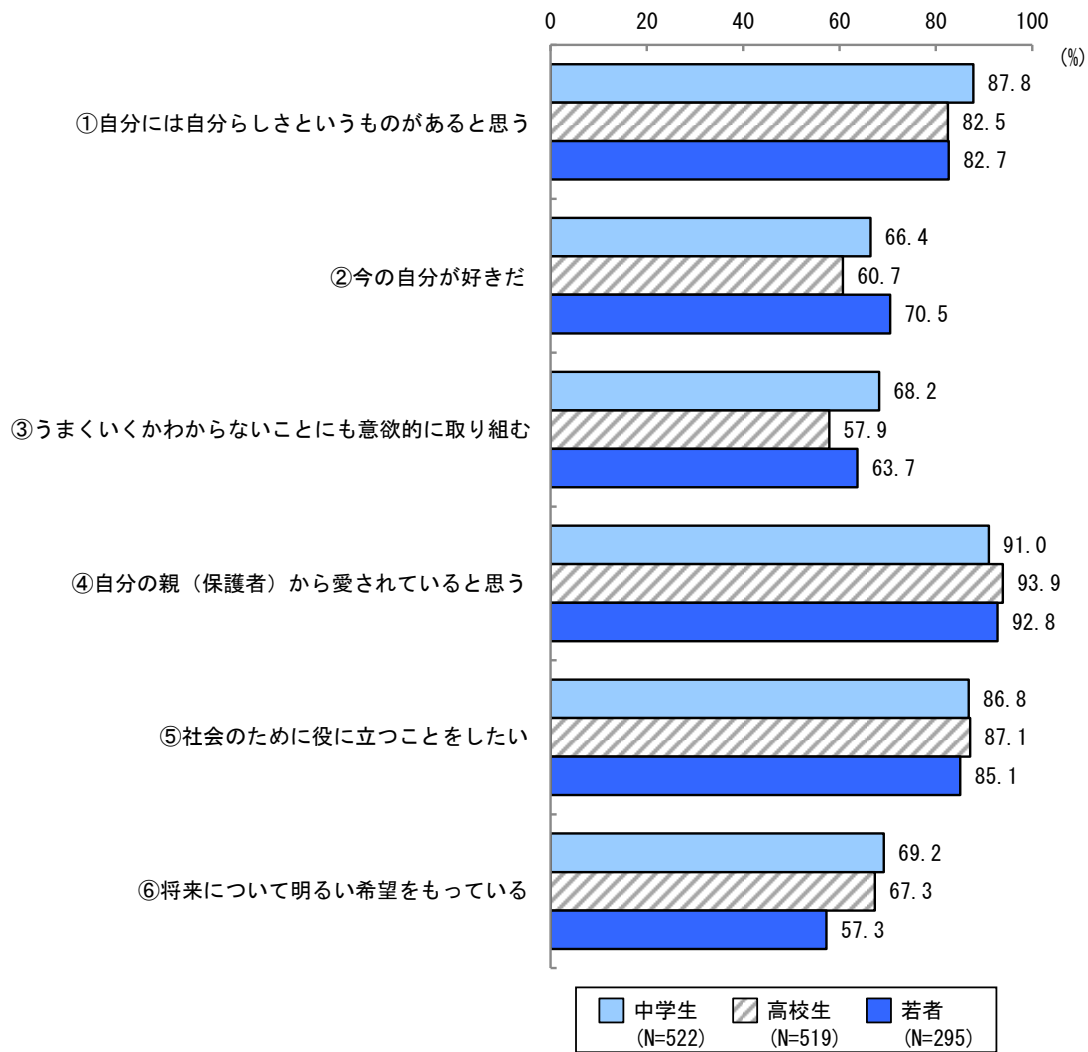
## 2. 主な調査結果

### 中高生・若者の共通設問

#### (1) 自己肯定感、生活に対する満足感について

- 自己肯定感等の自己意識についてみると、「④自分の親（保護者）から愛されていると思う」が中高生・若者とも9割を占め最も多く、次いで「①自分には自分らしさというものがあると思う」「⑤社会のために役立つことをしたい」が中高生・若者とも8割を占めています。これらに比べ、「②今の自分が好きだ」「③うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」「⑥将来について明るい希望をもっている」は、中高生・若者いずれも低く、特に「③うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」は高校生が、「⑥将来について明るい希望をもっている」は若者が、それぞれ5割台となっています。  
体験活動（自然体験、社会体験、文化体験、地域活動、海外旅行・海外滞在経験）について、体験活動の頻度が高いほど、自己肯定感等も概ね高くなる傾向にあり、体験活動の経験別で見ると、特に社会体験において強く傾向が出ています。（■図表 1-1）
- 現在の生活に対する満足度は、中学生・若者は「8」、高校生は「7」が多く、「10」は中学生が10.5%で最も多くなっています。7点以上の割合の合計は、中学生が63.2%、高校生が52.9%、若者が51.2%となっています。  
安心できる居場所の数別で見ると、安心できる居場所の数が多いほど、満足度が高い傾向にあります。（■図表 1-2）

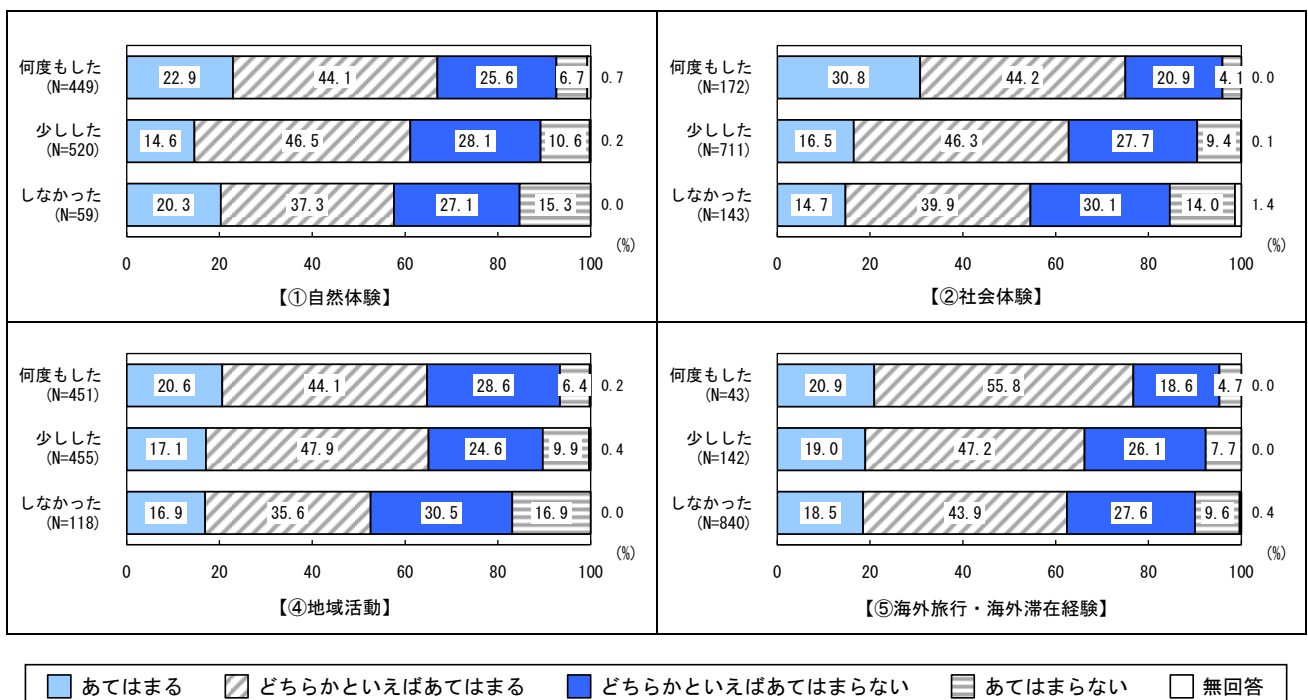
■図表 1-1 あなた自身について、次のことがらはどのくらいあてはまりますか。



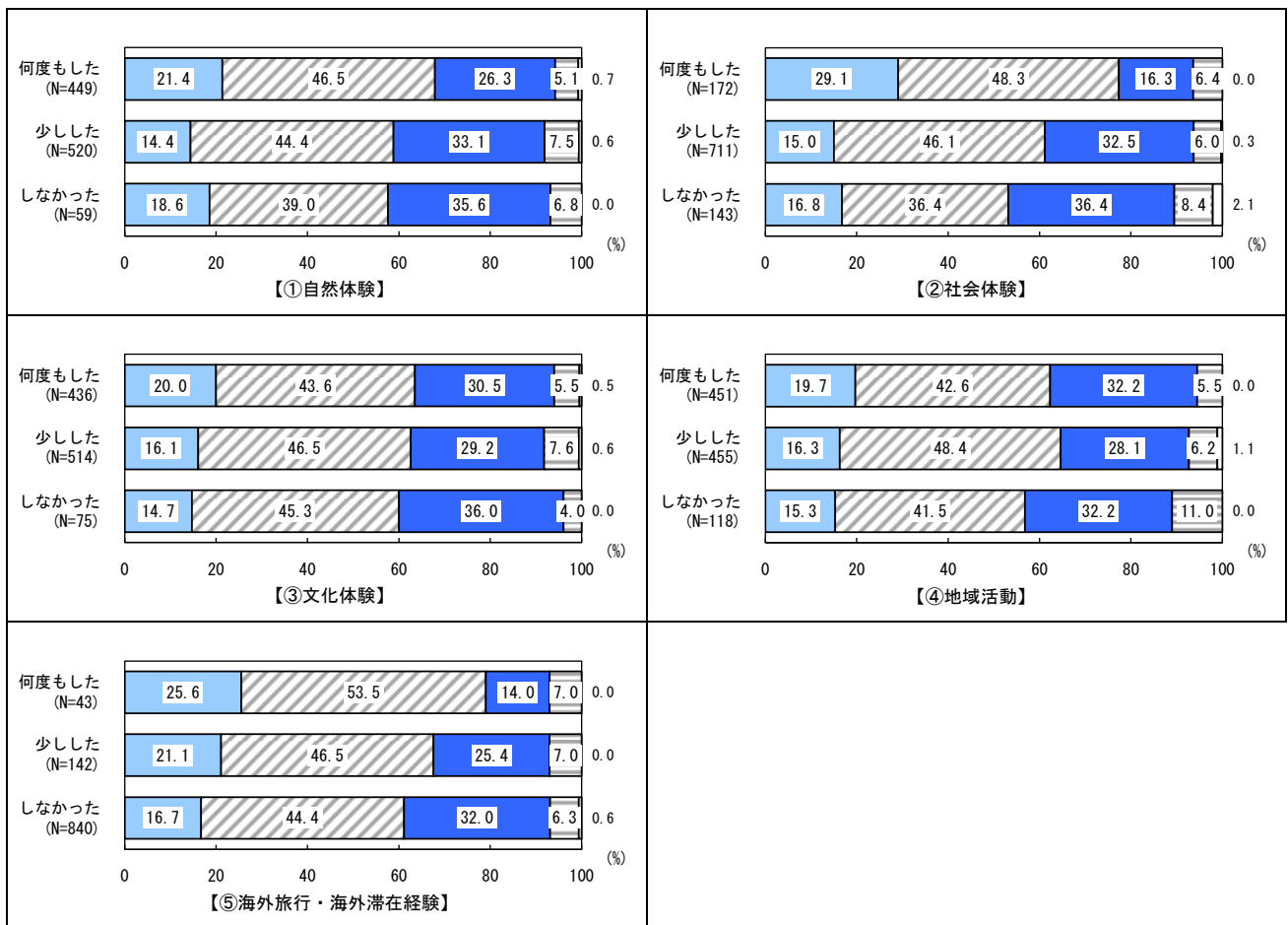
《体験活動の経験別》

※数値は、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合計したもの

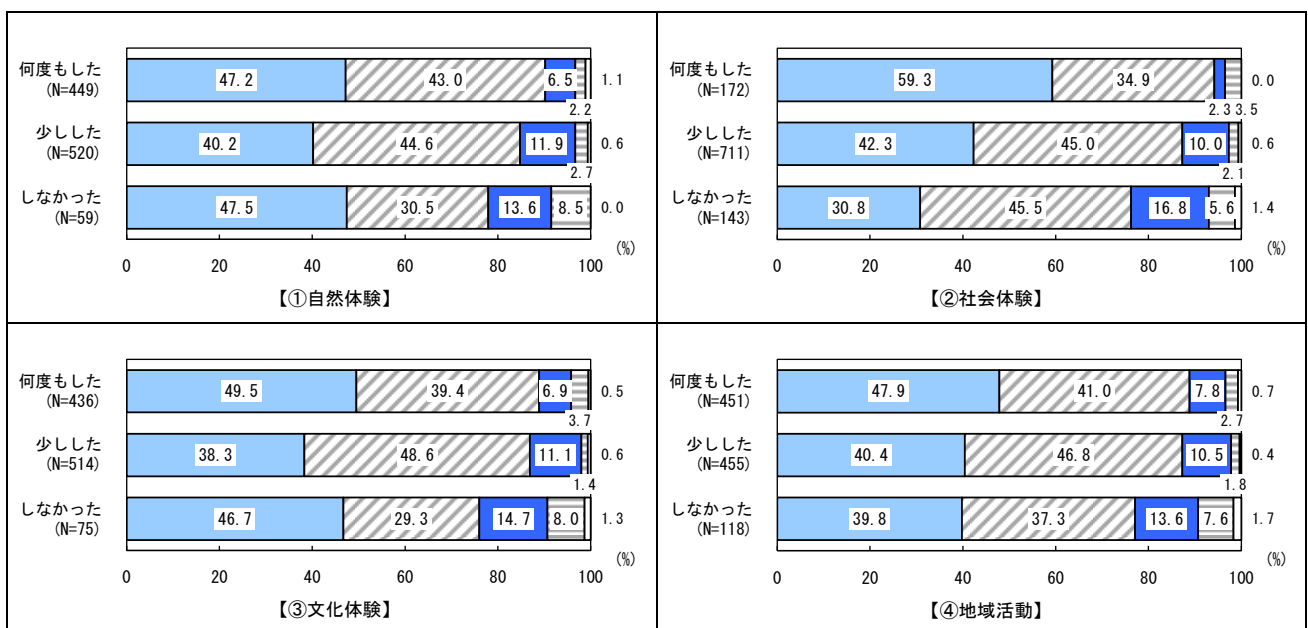
②今の自分が好きだ



③うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む

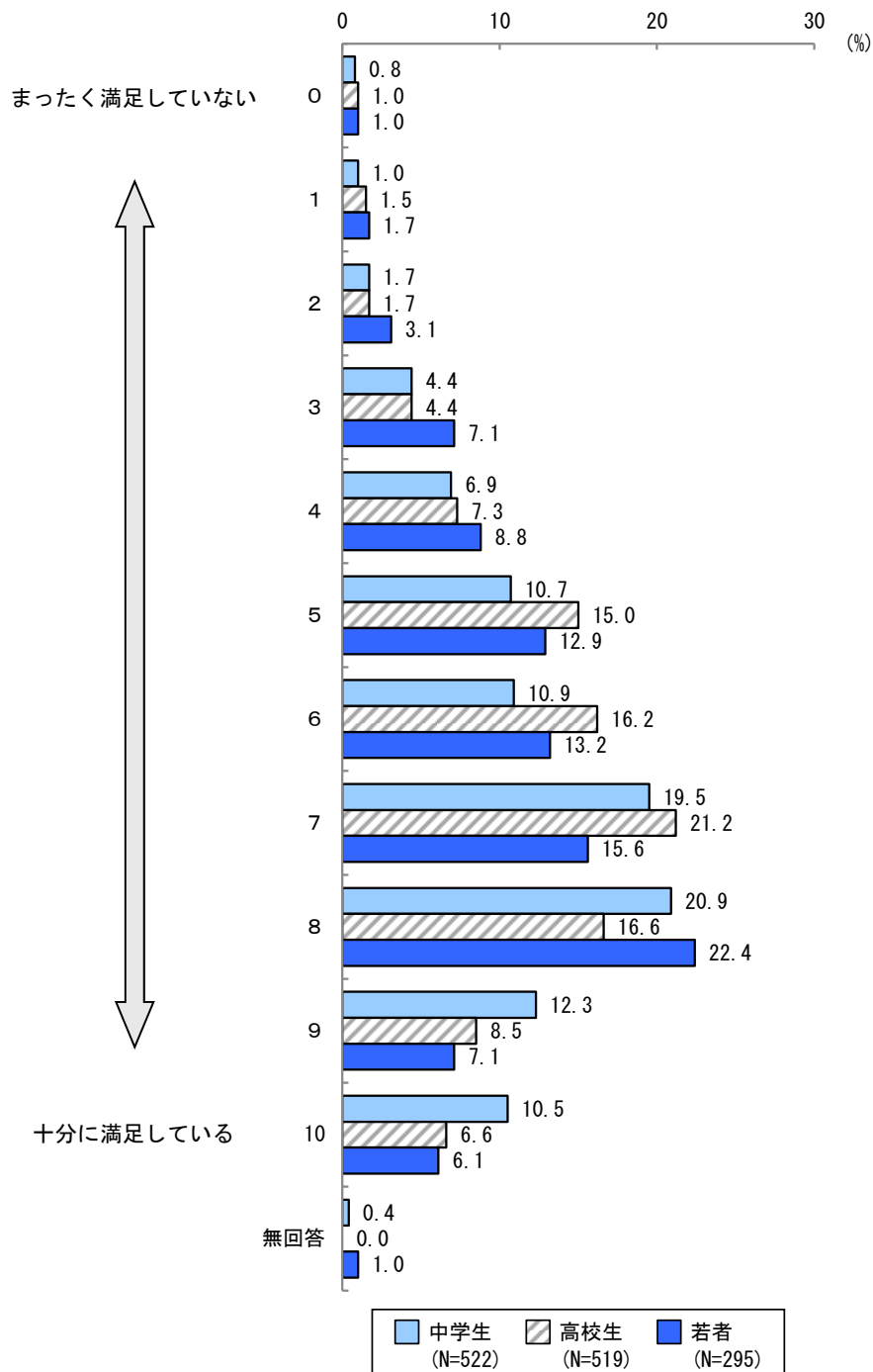


⑤社会のために役に立つことをしたい



あてはまる
 
 どちらかといえばあてはまる
 
 どちらかといえばあてはまらない
 
 あてはまらない
 
 無回答

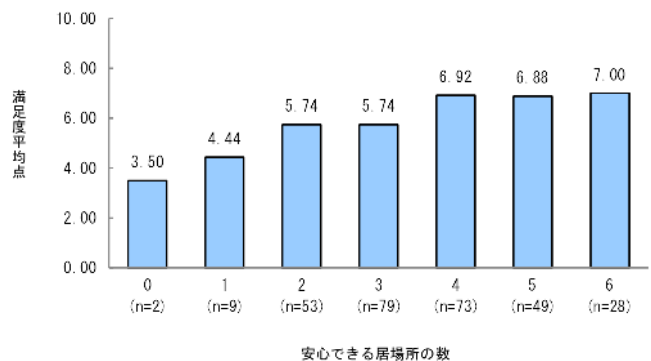
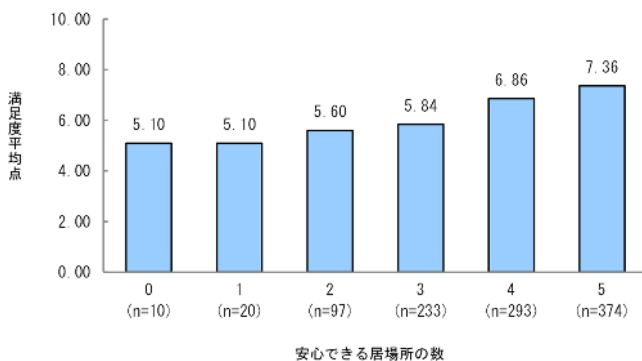
■図表 1-2 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。



《安心できる居場所の数別》

中学生・高校生

若者



## (2) 悩みや相談について

- 今悩んでいることの第1位は、中学生は「勉強や成績のこと」、若者は「お金のこと」となっています。次いで、中学生・若者いずれも「将来のこと（進学や就職など）」で、以下、中学生は「自分の容姿（顔や体格のこと）」や「無力感・やる気がでないこと」が、若者は「仕事や職場のこと」や「体や健康のこと」が続いています。（■図表 2-1）
- 悩みや心配事の相談先は、中学生は「友だち」が6割台で最も多く、次いで「母親」「父親」となっています。若者は「家族」が65.1%で最も多く、次いで「友人・恋人」「職場の上司、先輩、同僚」となっています。（■図表 2-2）
- 悩みや心配ごとがあっても相談しない理由は、中学生は「相談しても解決しないと思うから」が40.8%で最も多く、次いで「相談するのが面倒だから」「相談する程のことではないと思うから」となっています。高校生は「相談するのが面倒だから」が42.9%で最も多く、次いで「相談する程のことではないと思うから」「相談しても解決しないと思うから」となっています。若者は、「相談しても解決しないと思うから」が48.5%で最も多く、次いで「相談するのが面倒だから」となっています。（■図表 2-3）
- 相談しやすい方法は、中学生・若者いずれも「対面での直接相談」が最も多く、次いで、中学生は「メールでの相談」、高校生・若者は「SNSを活用した相談」が多くなっています。また、若者では「インターネット上の掲示板やチャットでの相談」が、中学生と比べて多くなっています。（■図表 2-4）

■図表 2-1 あなたが今、悩んでいることは何ですか。（上位5項目）

(MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
中学生 (N=522)	勉強や成績のこと 72.2	将来のこと（進学や就職など） 60.0	自分の容姿（顔や体格のこと） 27.8	無力感・やる気がでないこと 23.6	部活動のこと 23.0
高校生 (N=519)	勉強や成績のこと 72.3	将来のこと（進学や就職など） 68.8	自分の容姿（顔や体格のこと） 25.8	無力感・やる気がでないこと 22.9	お金のこと 21.0
若者 (N=295)	お金のこと 53.9	将来のこと（進学や就職など） 50.8	仕事や職場のこと 37.6	体や健康のこと 31.9	家族のこと 25.4

■図表 2-2 あなたは、悩みや心配ごとを誰に相談しますか。（上位5項目）

(MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
中学生 (N=522)	友だち 62.6	母親 55.4	父親 26.4	学校の先生 20.5	兄弟姉妹 18.2
高校生 (N=519)	友だち 64.0	母親 55.5	父親 21.8	兄弟姉妹 18.3	学校の先生 10.4

(MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
若者 (N=295)	家族 65.1	友人・恋人 55.9	職場の上司、先輩、同僚 23.1	医師やカウンセラー等の専門家 5.8	インターネットの相談サイト・SNSの仲間 5.1

※中学生・高校生と若者で選択肢の数および一部内容が異なります。

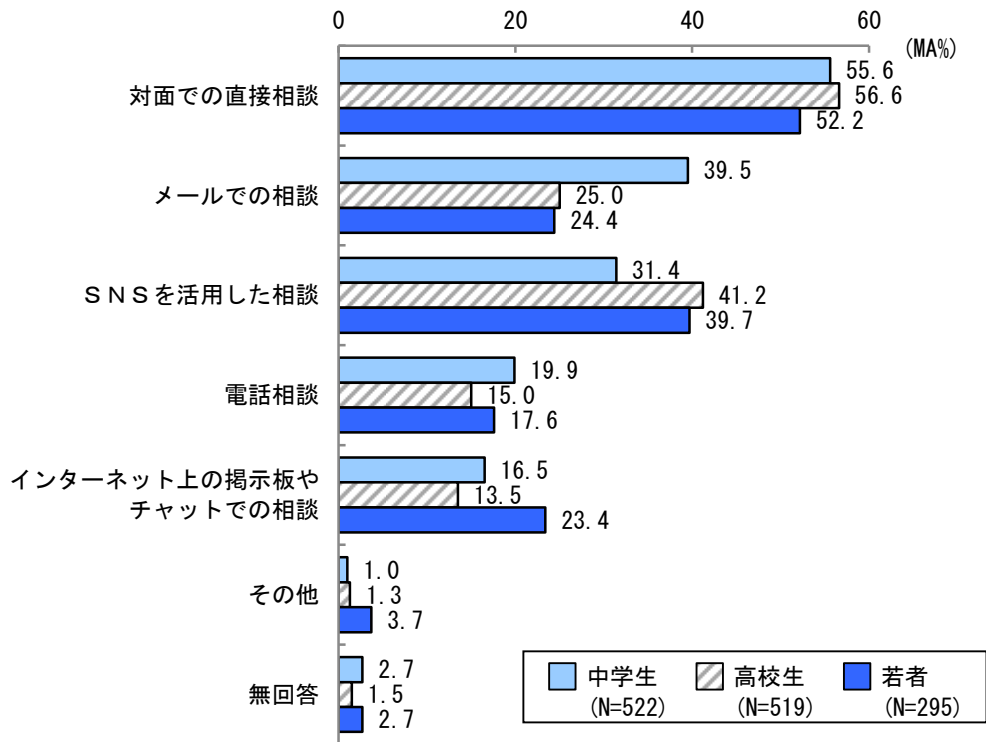
■図表 2-3 相談しない理由は何ですか。(上位5項目)

(MA%)					
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
中学生 (N=71)	相談しても解決しない と思うから 40.8	相談するのが面倒だ から 38.0	相談する程のことでは ないと思うから 36.6	うまく伝えられないか ら 31.0	悩みを知られたくない から 29.6
高校生 (N=56)	相談するのが面倒だ から 42.9	相談する程のことでは ないと思うから 39.3	相談しても解決しない と思うから 37.5	相談相手に何を言われ るか不安だから 23.2	うまく伝えられないか ら 21.4

(MA%)					
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
若者 (N=33)	相談しても解決しない と思うから 48.5	相談するのが面倒だ から 42.4	うまく伝えられないか ら 21.2	相談する程のことでは ないと思うから 相談相手に何を言われ るか不安だから 18.2	

※中学生・高校生と若者で選択肢の数が異なります。

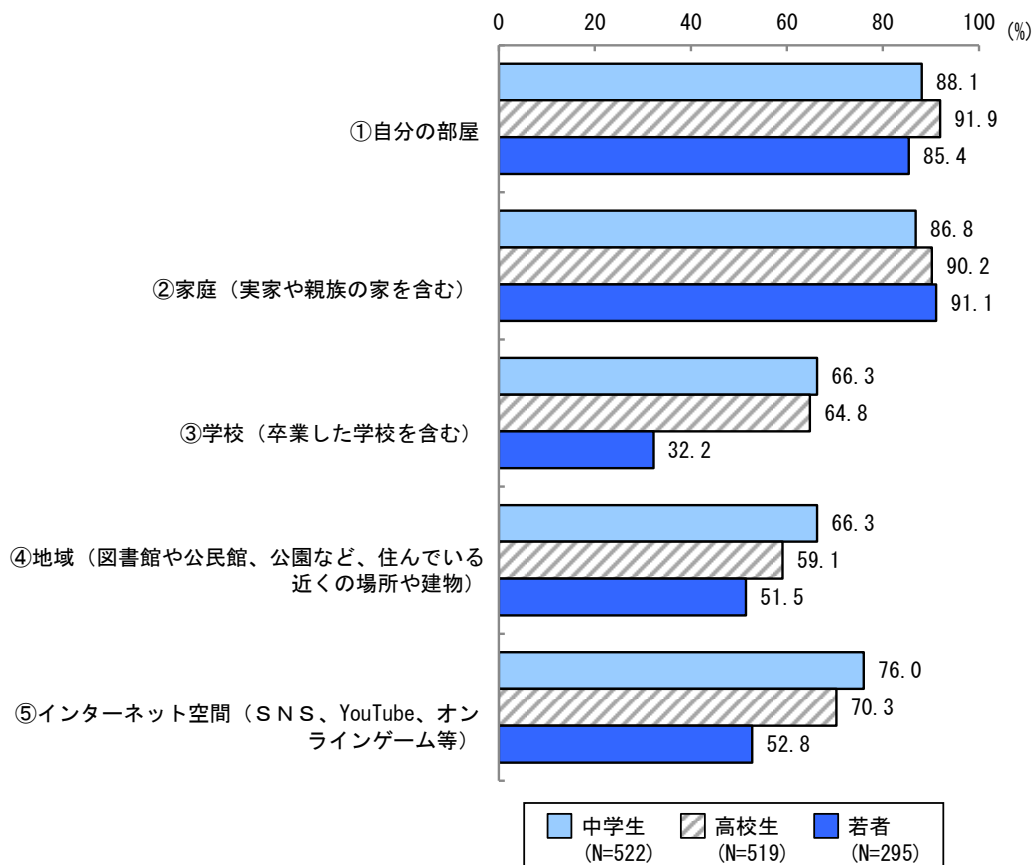
■図表 2-4 どのような方法であれば相談しやすいと思いますか。



### (3) 居場所について

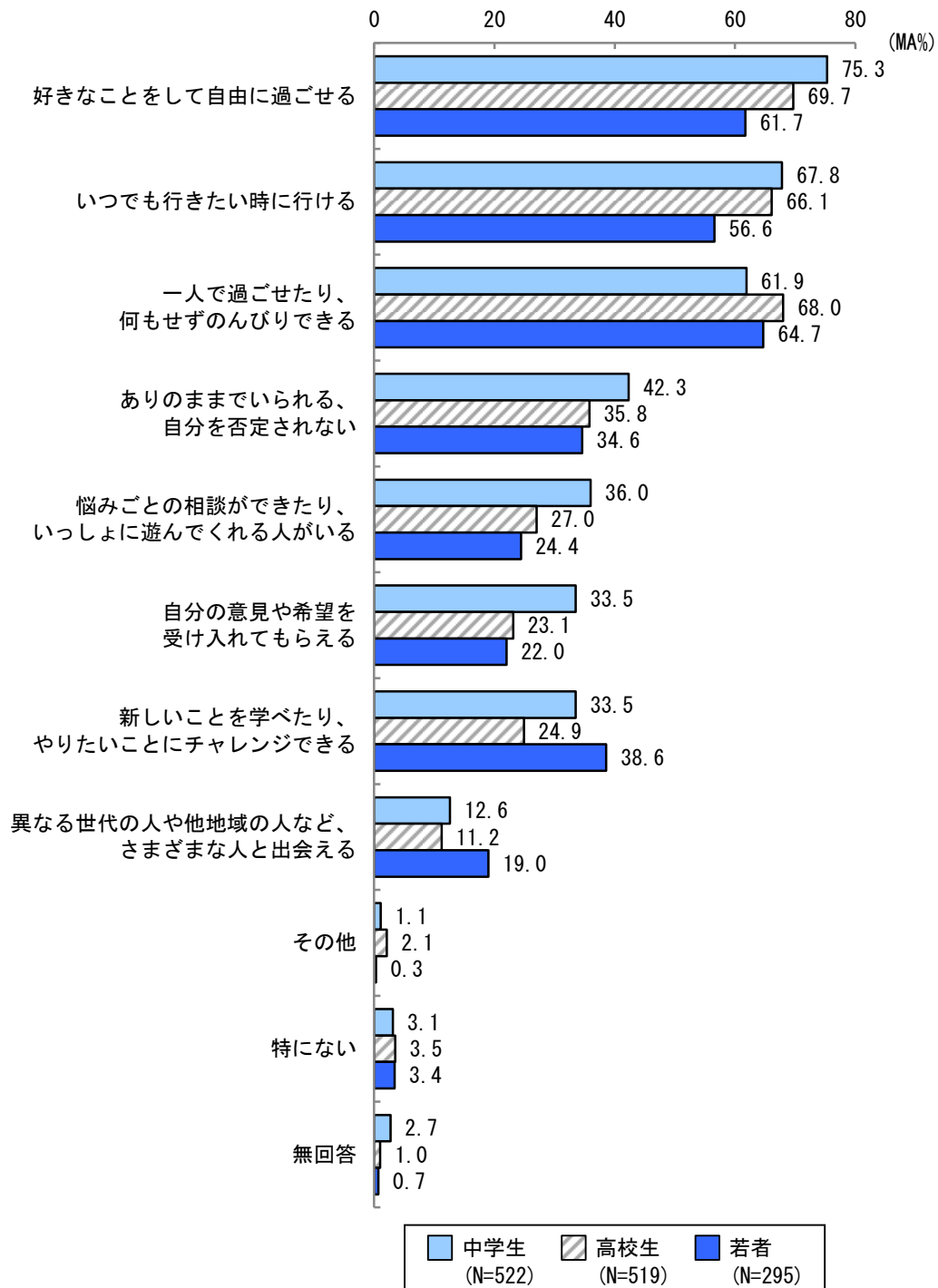
- ほとんどできる、居心地の良い居場所は、中高生・若者いずれも「①自分の部屋」「②家庭（実家や親族の家を含む）」が8～9割台となっています。「③学校」「④地域（図書館や公民館、公園など、住んでいる近くの場所や建物）」「⑤インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲーム等）」は、中高生で6～7割を占めるのに対し、若者はそれよりも少なくなっています。（■図表 3-1）
- 家庭、学校、職場以外に行ってみたい場所は、中高生・若者いずれも「好きなことをして自由に過ごせる」「いつでも行きたいときに行ける」「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が多くなっています。（■図表 3-2）

■図表 3-1 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほとんどできる場所、居心地の良い場所）になっていますか。



※数値は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計したものの

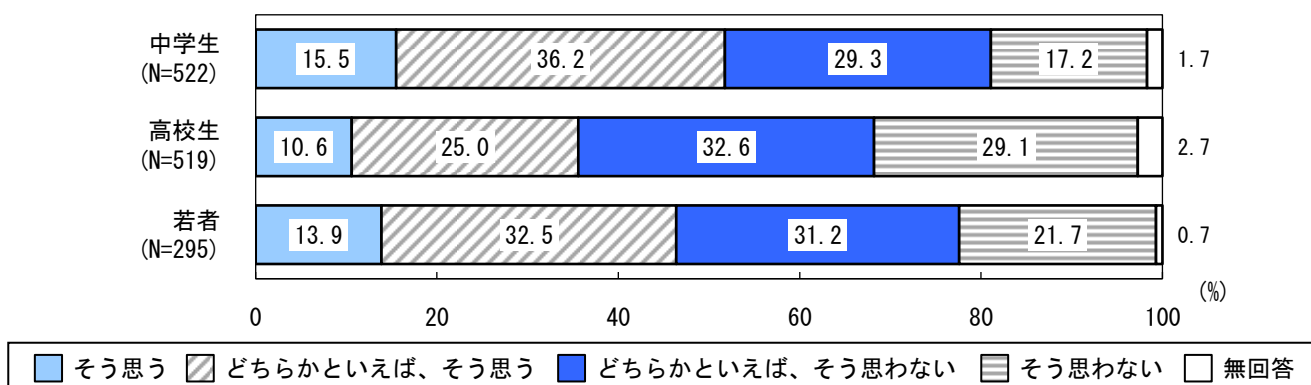
■図表 3-2 家庭、学校、職場以外にどのような場所であれば行ってみたいと思いますか。



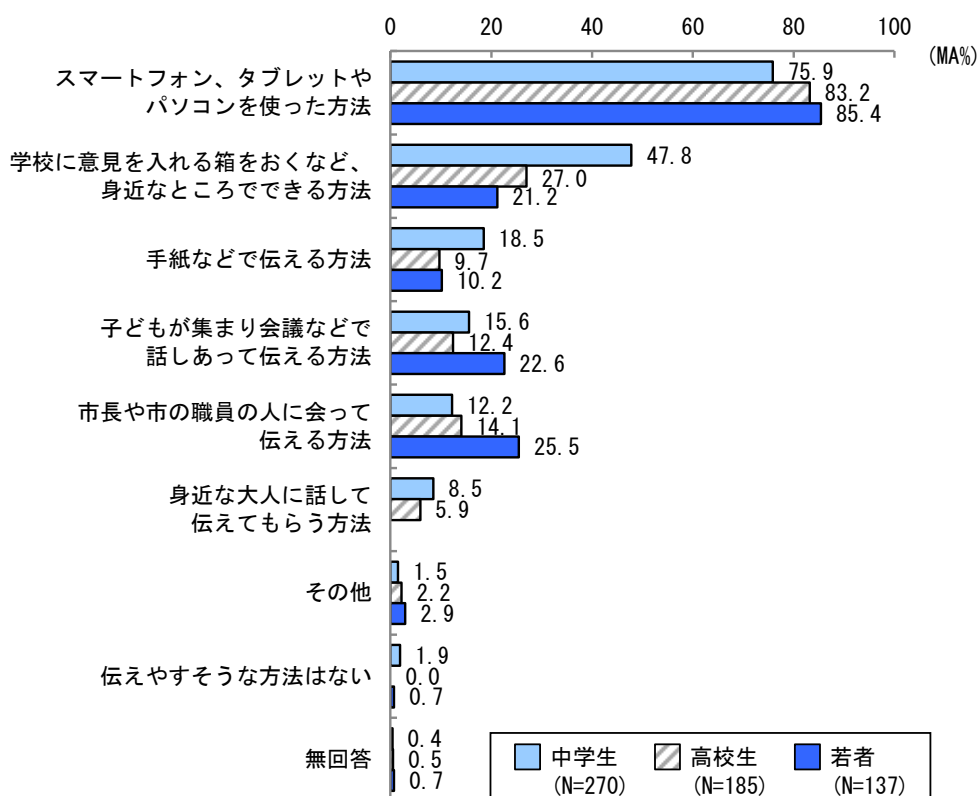
#### (4) 意見表明について

- 「市へ意見を伝えたり、意見の実現に向けて一緒に取り組む機会に参画したいか」について、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合は、中学生が51.7%、高校生が35.6%、若者が46.4%となっており、中学生の割合が高くなっています。(■図表 4-1)
- 自分の希望や思いを市に伝えやすい方法・手段は、中高生・若者いずれも「スマートフォン、タブレットやパソコンを使った方法」が7～8割台となっています。次いで、中高生では「学校に意見を入れる箱をおくなど、身近なところでできる方法」、若者では「市長や市の職員の人によって伝える方法」「子どもが集まり会議などで話し合っ伝える方法」となっています。(■図表 4-2)

■図表 4-1 あなたは、三田市へ意見を伝えたり、その意見の実現に向けて一緒に取り組む機会に参画（主体的に関わる）したいと思いますか。



■図表 4-2 どのような方法や手段があれば、自分の希望や思いを三田市に伝えやすいですか。

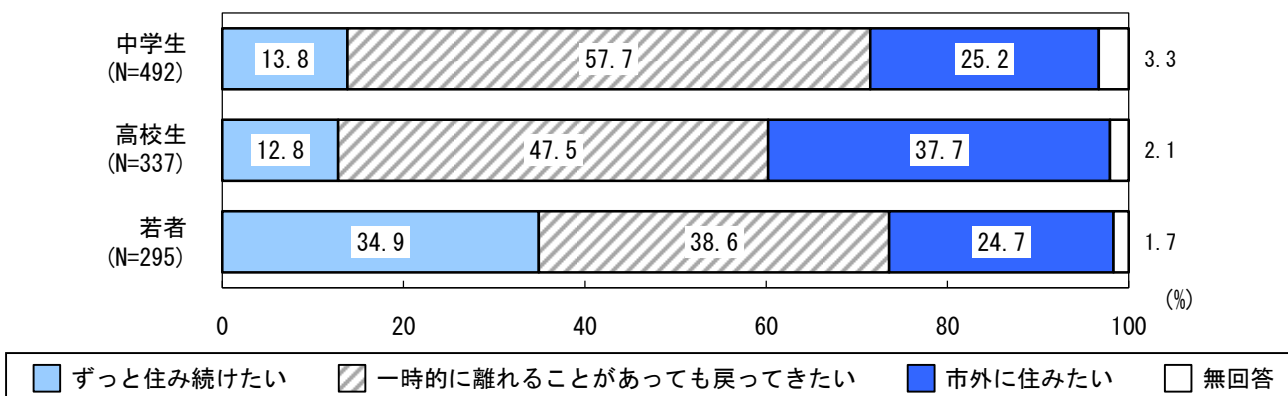


※中学生・高校生と若者で選択肢の数および一部内容が異なります。

(5) 三田市への定住意向

- 中学生・若者いずれも、「(三田市から)一時的に離れることがあっても戻ってきたい」が多く、「ずっと住み続けたい」は、若者が34.9%で、中学生よりも多くなっています。「市外に住みたい」は高校生が37.7%が多くなっています。(■図表 5-1)
- 「ずっと住み続けたい」または「一時的に離れることがあっても戻ってきたい」という理由について、中学生は「安全なまちだから」、若者は「住みやすく心地よいまちだから」が最も多くなっています。(■図表 5-2)

■図表 5-1 あなたは、今後も三田市に住み続けたいと思いますか。



※中学生・高校生調査では、居住している小学校区を問う設問で「三田市以外」「わからない」を選択および無回答の場合を除いて集計しています。

■図表 5-2 ずっと住み続けたい、または一時的に離れることがあっても戻ってきたいと思う理由をお答えください。(上位5項目)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
中学生 (N=352)	安全なまちだから 60.2	自然が豊かなまちだから 56.8	住みやすく心地よいまちだから 51.7	友人が多く住んでいるから 51.1	親や親せきが住んでいるから 44.9
高校生 (N=203)	安全なまちだから 52.7	自然が豊かなまちだから 47.8	住みやすく心地よいまちだから 45.8	親や親せきが住んでいるから 29.1	便利なまちだから 26.6
若者 (N=217)	住みやすく心地よいまちだから 49.8	自然が豊かなまちだから 45.6	安全なまちだから 43.8	親や親せきが住んでいるから 37.3	便利なまちだから 35.5

## 中高生のための設問

### (1) 体験活動や地域活動について

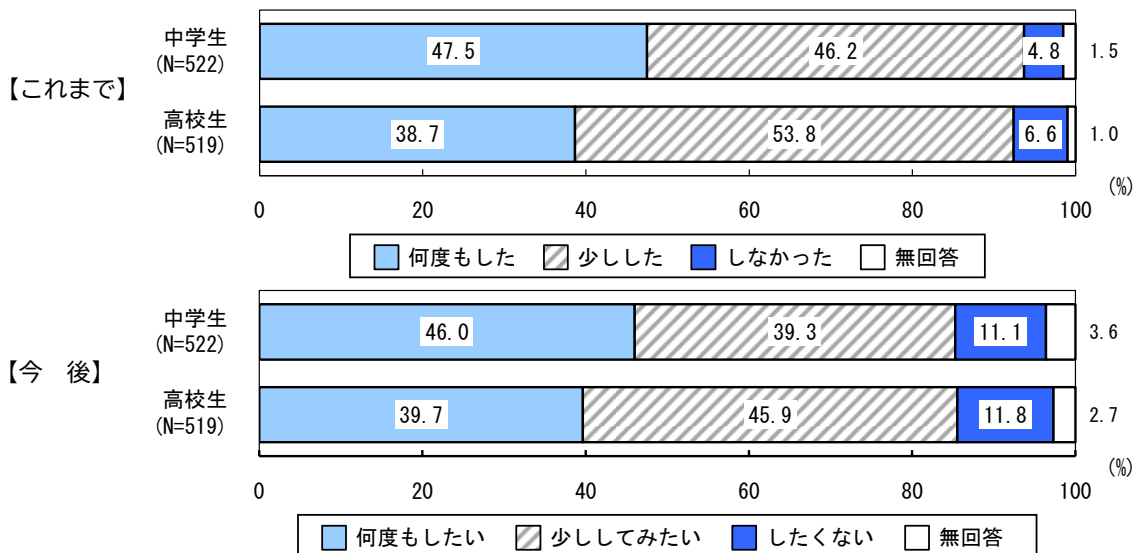
- 次にあげる①～⑤の項目の活動について、「(これまで) 何度しました」「(これまで) 少しした」を合わせると、中高生ともに「①自然体験」が最も多く、次いで「③文化体験」となっています。一方で、「⑤海外旅行・海外滞在経験」は「しなかった」が中高生ともに8割を占めています。

「(今後) 何度もしたい」「(今後) 少ししてみたい」を合わせると、中高生ともに「⑤海外旅行・海外滞在経験」以外の項目で8割を超えています。中高生ともに、「②社会体験」「③文化体験」「⑤海外旅行・海外滞在経験」は、「(これまで) 何度しました」よりも「(今後) 何度もしたい」が上回っています。(■図表 1-1)

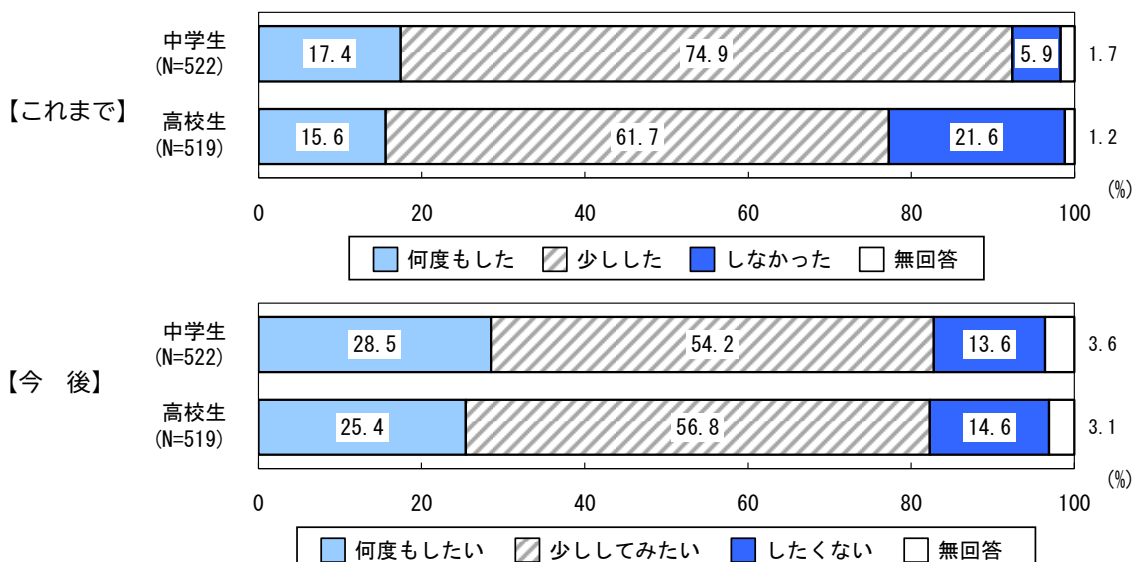
- 「今後、どのような活動なら参加したいか」について、中高生ともに「自分の趣味や特技を生かせること」が最も多く、次いで「同じ年ごろの子といっしょに活動できること」となっています。(■図表 1-2)

■図表 1-1 あなたは、これまでに、次の体験活動をどのくらいしてきましたか。また、今後は、次の体験活動をどのくらいしたいですか。

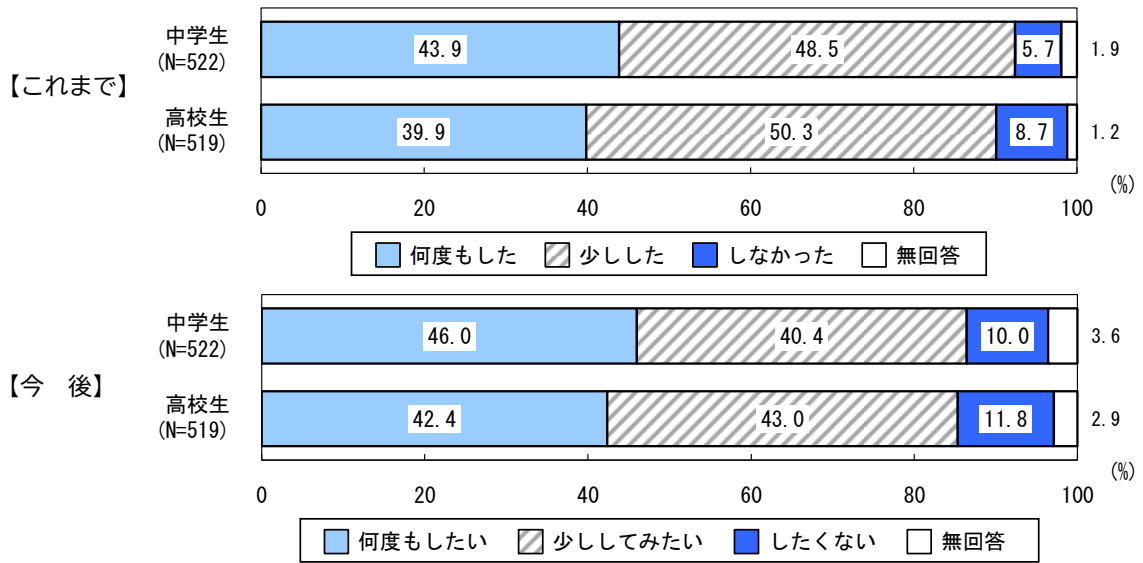
#### ①自然体験（キャンプ、動植物とのふれあい、登山、川・海遊び等）



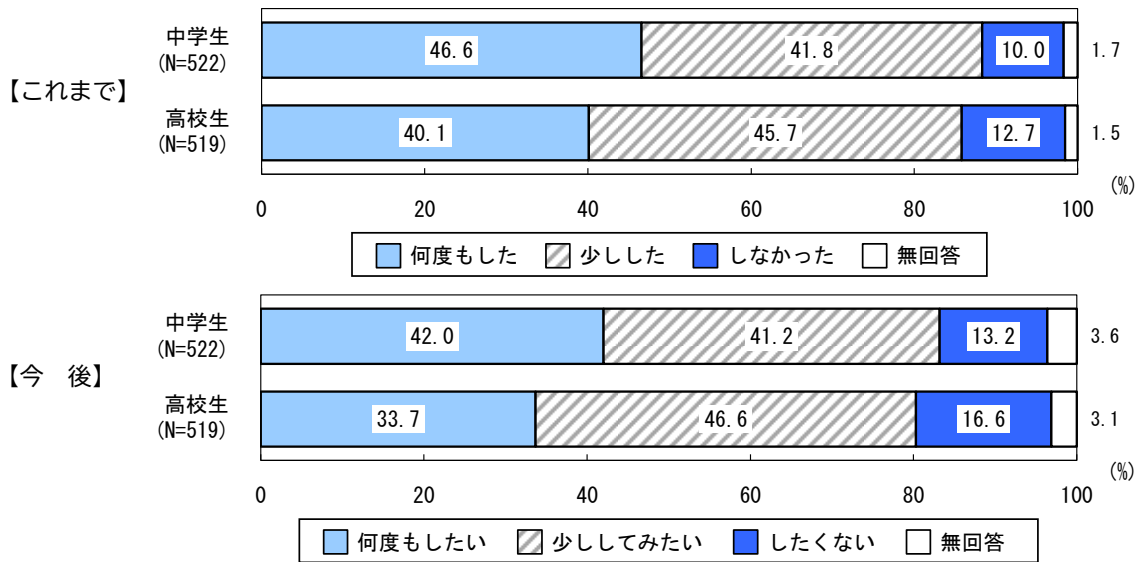
#### ②社会体験（職業体験、農業体験、ボランティア等）



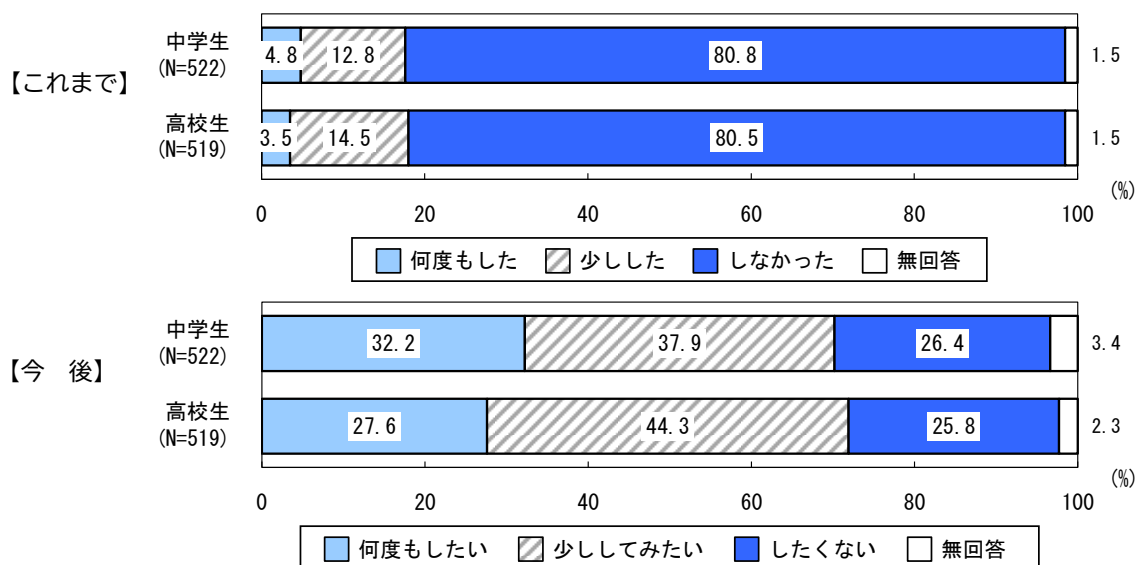
③文化体験（博物館・美術館見学、音楽・演劇・古典芸能鑑賞又は体験、スポーツ観戦等）



④地域活動（地域のお祭り、清掃活動など）



⑤海外旅行・海外滞在経験（滞在、留学、ホームステイ）



■図表 1-2 今後、どのような活動なら参加したいと思いますか。(上位5項目)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
中学生 (N=522)	自分の趣味や特技を生かせること 53.8	同じ年ごろの子といっしょに活動できること 46.9	自由に勉強したり、おしゃべりしたりのんびりできること 35.1	赤ちゃんや小さい子とふれあったり、遊んだりできること 22.6	地域の運動会や祭り・清掃活動など、中学生や高校生が参加するプログラムがあること 22.6
高校生 (N=519)	自分の趣味や特技を生かせること 42.0	同じ年ごろの子といっしょに活動できること 39.5	赤ちゃんや小さい子とふれあったり、遊んだりできること 25.6	困っている人や誰かの力になれること 20.2	自由に勉強したり、おしゃべりしたりのんびりできること 20.0

## (2) 地域や近所の大人の人に対し望むこと

- 地域や近所のおとなの人に対して望むことは、中高生ともに「気軽にあいさつをしたり、声をかけたりしてほしい」が最も多く、次いで「子どものことをあれこれ言う前に、おとな自身がきちんとしてほしい」「良いことをしたときには、ほめてほしい」となっています。(■図表 2-1)

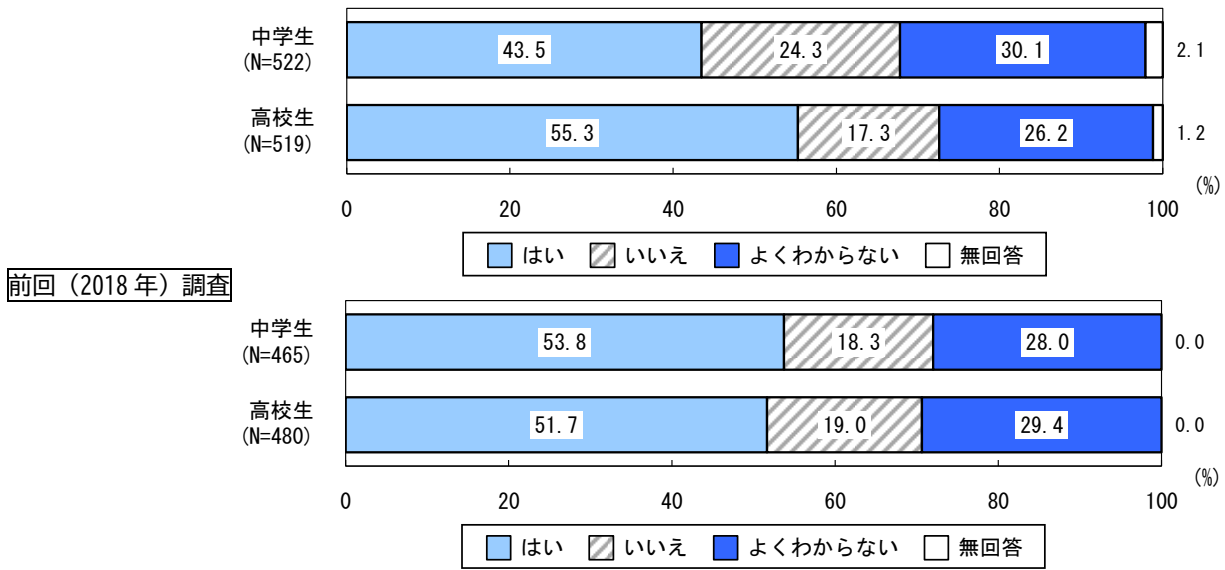
■図表 2-1 あなたは、地域や近所のおとなの人に対して、どのようなことを望みますか。(上位5項目)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
中学生 (N=522)	気軽にあいさつをしたり、声をかけたりしてほしい 51.5	子どものことをあれこれ言う前に、おとな自身がきちんとしてほしい 28.4	良いことをしたときには、ほめてほしい 26.2	危険なことや悪いことをしたときには、注意してほしい 21.8	いじめられているときには助けてほしい 21.1
高校生 (N=519)	気軽にあいさつをしたり、声をかけたりしてほしい 43.5	子どものことをあれこれ言う前に、おとな自身がきちんとしてほしい 20.0	良いことをしたときには、ほめてほしい 17.9	経験や知識を伝えてほしい 16.8	危険なことや悪いことをしたときには、注意してほしい 13.7

## (3) 将来の夢

- 将来の夢をもっているかについて、「はい」の回答は、中学生が43.5%、高校生が55.3%となっています。  
前回調査と比較すると、中学生で「はい」が減少しています。(■図表 3-1)

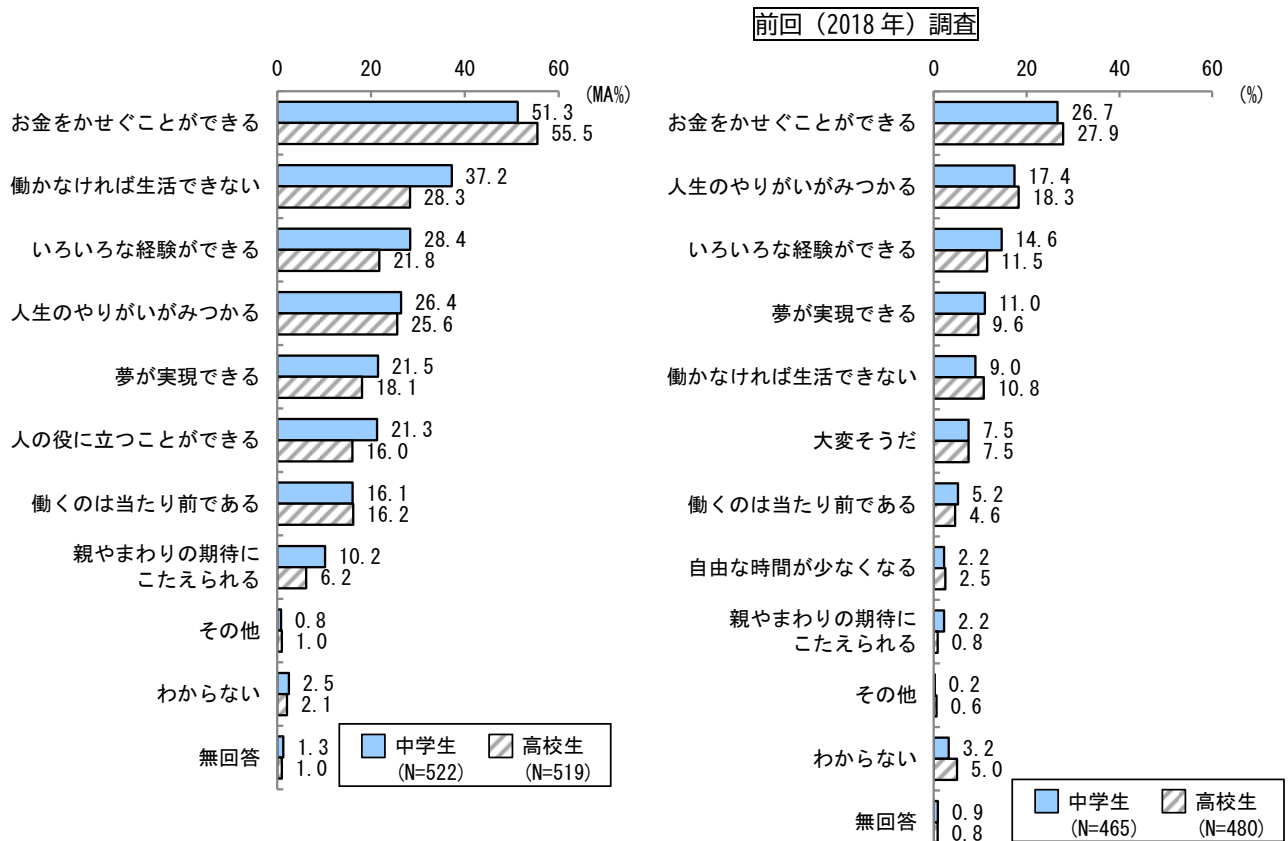
■図表 3-1 将来の夢を持っていますか。



(4) 仕事に対するイメージ

● 仕事に対するイメージは、中高生ともに「お金をかせぐことができる」が最も多く、次いで「働かなければ生活できない」となっています。(■図表 4-1)

■図表 4-1 仕事についてどのようなイメージを持っていますか。

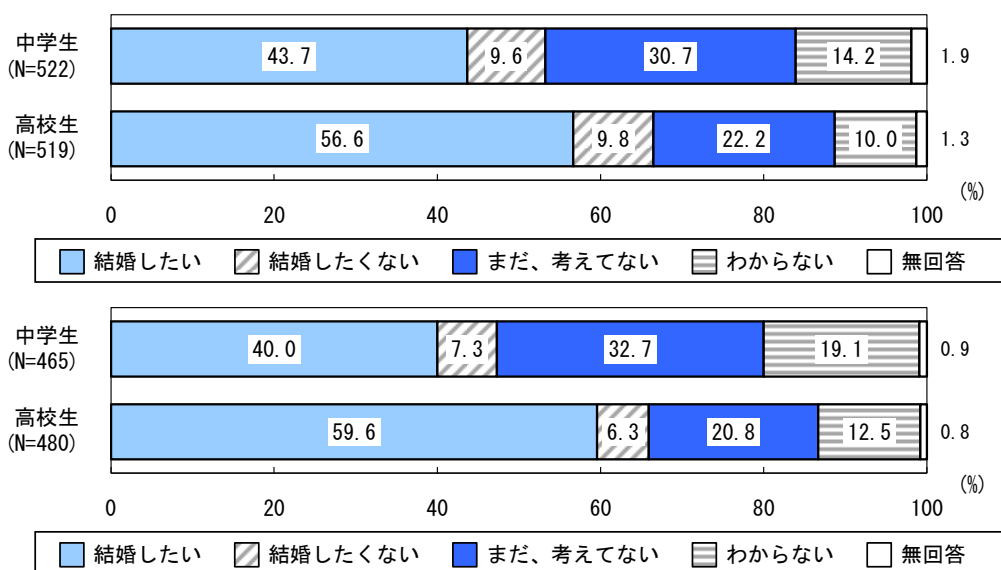


※今回調査は単数回答設問だったが、複数回答が多かったため複数回答設問として集計  
 前回調査は単数回答設問として集計

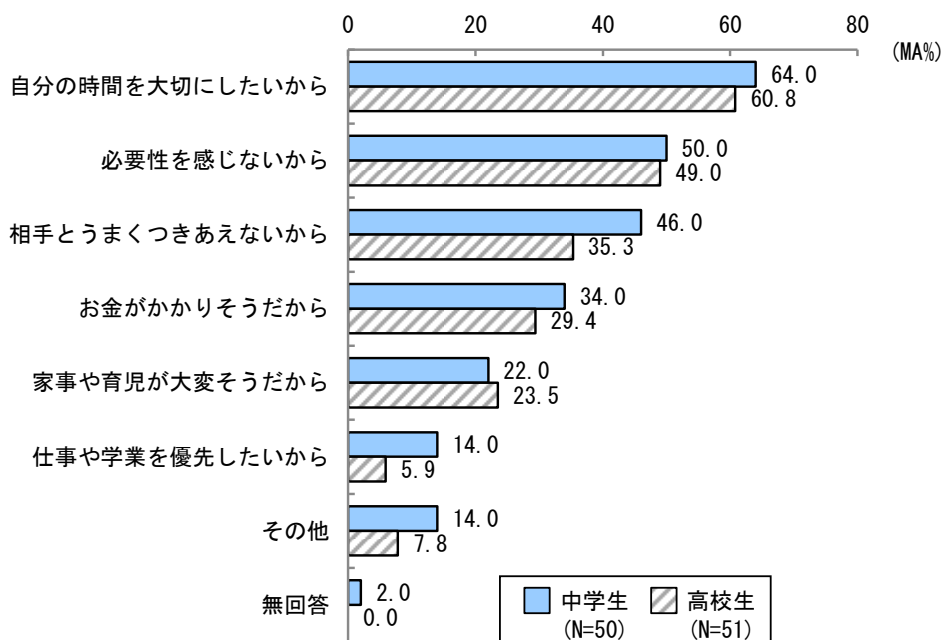
## (5) 結婚することについて

- 将来、結婚したいかどうかについて、「結婚したい」は、中学生が43.7%、高校生が56.6%となっています。中高生とも前回調査の結果から「結婚したい」の割合に大きな変化はみられません。(■図表5-1)
- 結婚したくない理由は、中高生とも「自分の時間を大切にしたいから」が最も多く、次いで「必要性を感じないから」となっています。また、中学生で「相手とうまくつきあえないから」が4割を超えています。(■図表5-2)

■図表5-1 将来、結婚したい（特定のパートナーと一緒に暮らしたい）と思いますか。



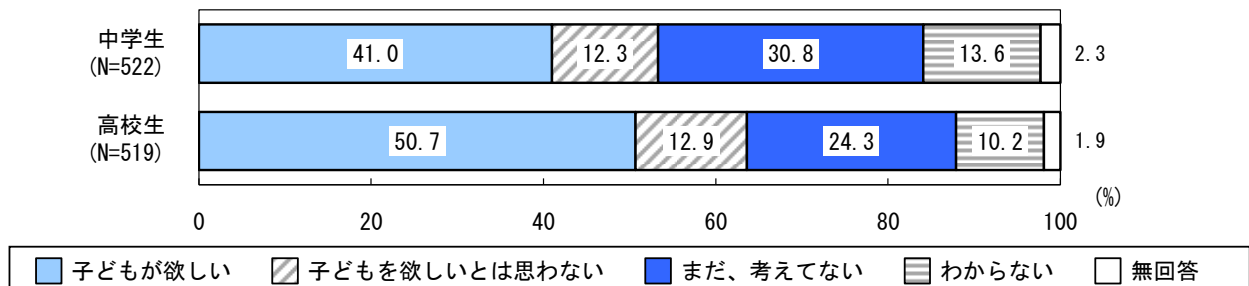
■図表5-2 結婚したくない理由は何ですか。



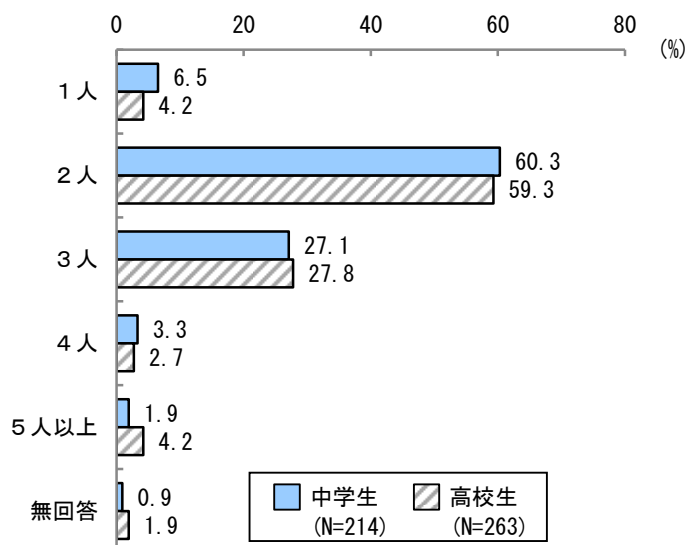
(6) 子どもを生み育てることや家庭をもつことについて

- 将来、子どもが欲しいと思うかどうかについて、中学生の41.0%、高校生の50.7%が「子どもが欲しい」と回答しています。(■図表 6-1)
- 将来欲しい子どもの人数は、中高生とも「2人」が最も多く、次いで「3人」となっています。(■図表 6-2)
- 子どもを欲しいと思わない理由は、中高生とも「育児ができるか不安だから」が最も多く、次いで「自分の時間を大切にしたいから」となっています。(■図表 6-3)
- 将来つくりたい家庭像は、中高生とも「自分もパートナーも働いていっしょに家事や子育て」が最も多く、次いで「子どもが小さいときは女性が家において、子どもが大きくなったら男性も女性も働いていっしょに家事や子育て」となっています。(■図表 6-4)
- 子どもを育てることについての考え方は、中高生とも「⑥地域とのつながりができる」「⑧子どもはたくさんいた方がよいと思う」を除く項目で8～9割を占め、子育てを肯定的にとらえる割合が高くなっています。  
 前回調査と比較すると、肯定的な回答(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う)」について、「②子どもを育てることは楽しい」で減少し、「⑨子どもを育てるのは大変そうだ」で増加しています。(■図表 6-5)

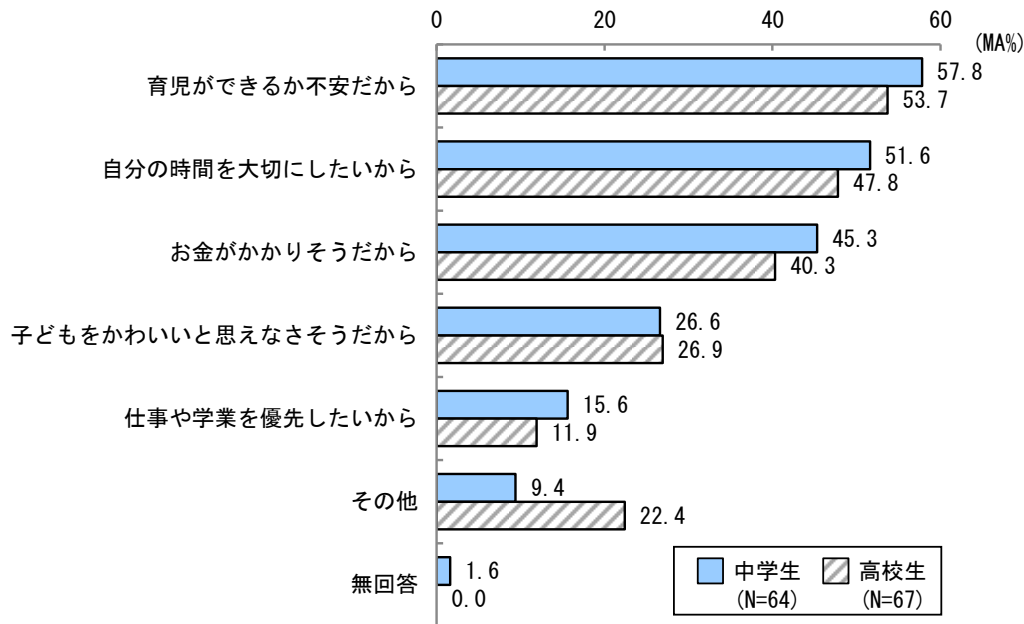
■図表 6-1 将来、子どもが欲しいと思いますか。



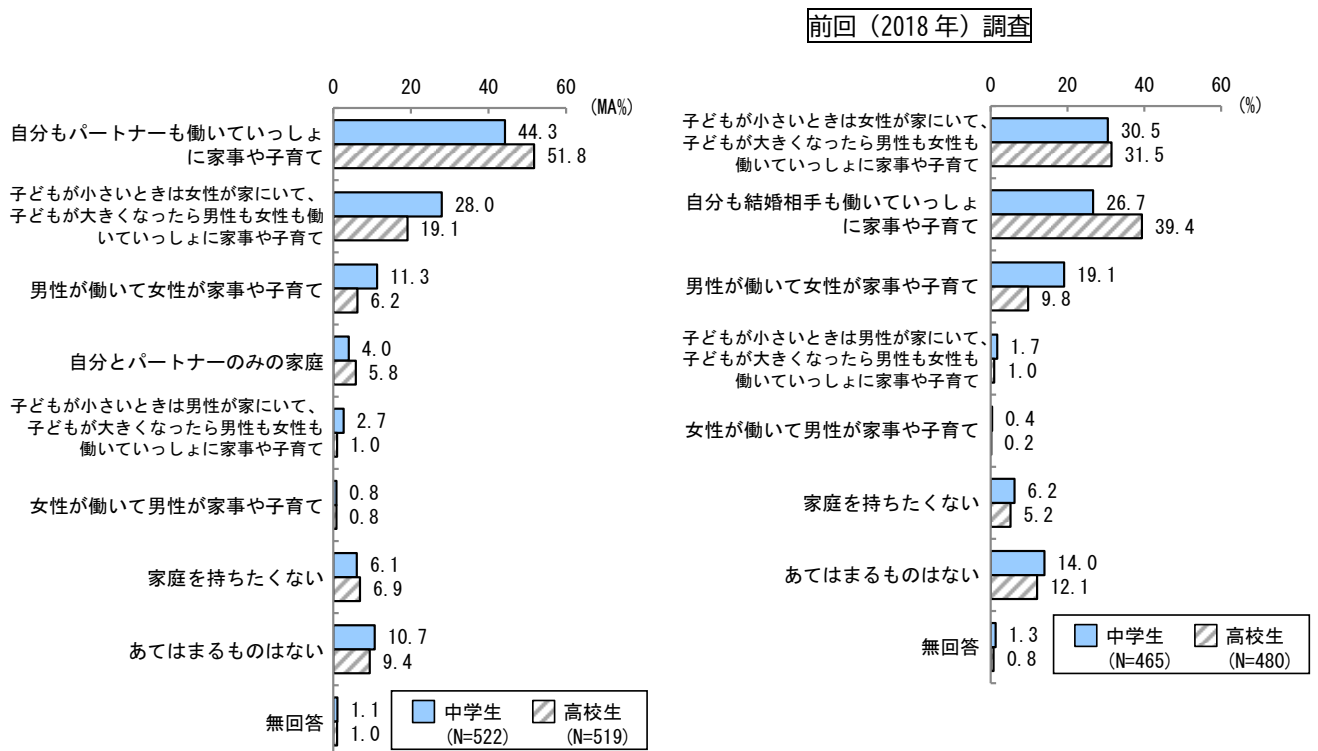
■図表 6-2 何人ぐらい子どもが欲しいですか。



■図表 6-3 子どもが欲しいと思わない理由は何ですか。

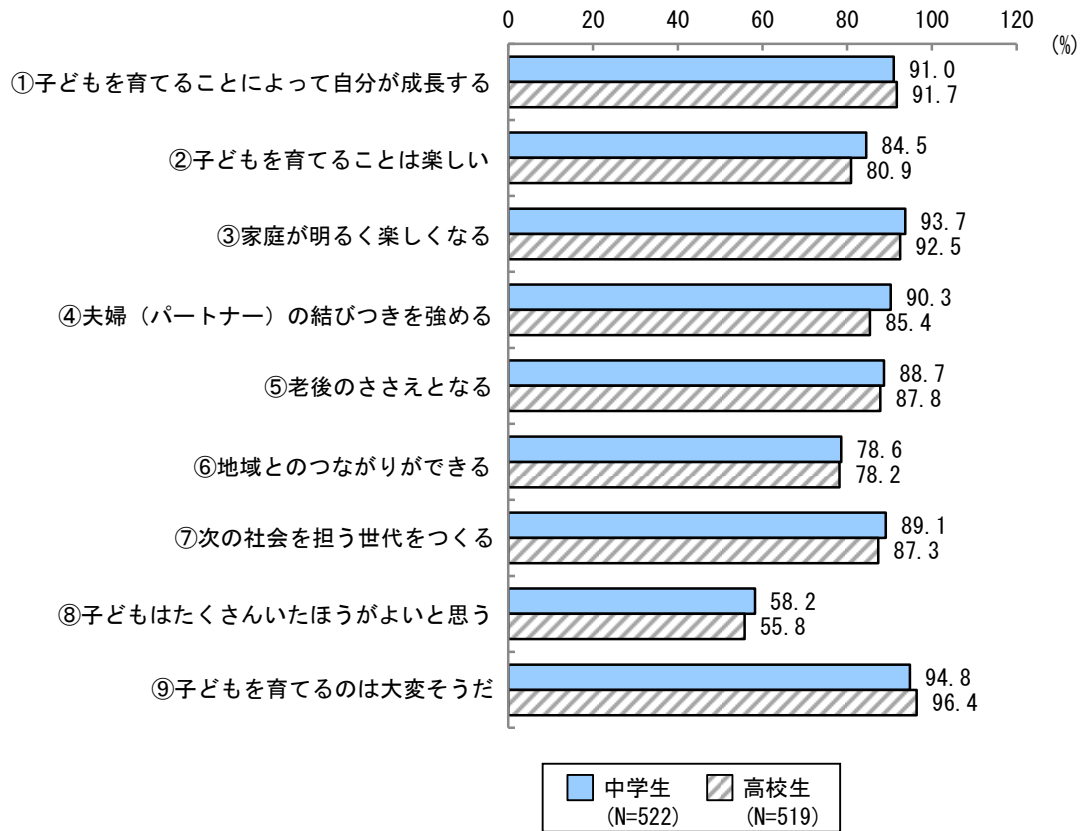


■図表 6-4 将来、どんな家庭をつくりたいですか。



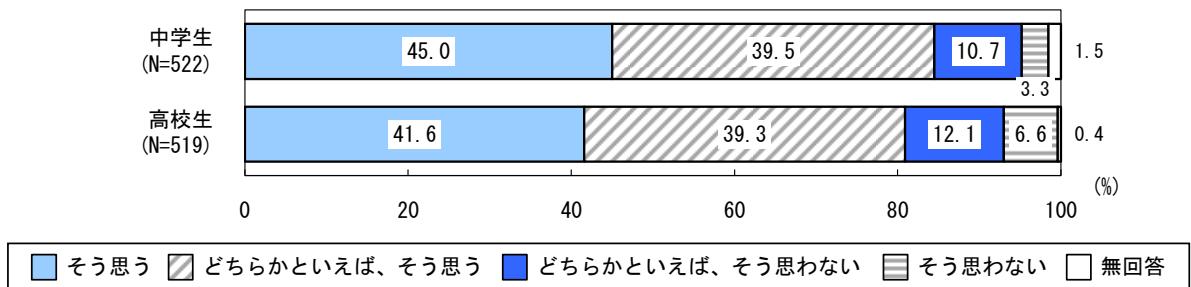
※今回調査は単数回答設問だったが、複数回答が多かったため複数回答設問として集計  
 前回調査は単数回答設問として集計

■図表 6-5 あなたは、子どもを育てることについてどのように思いますか。

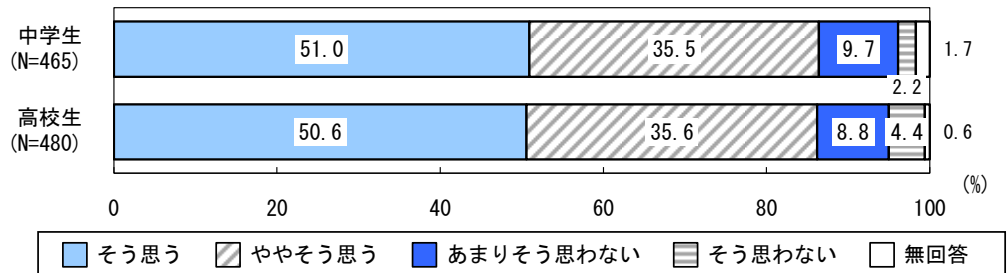


※数値は、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合計したものの

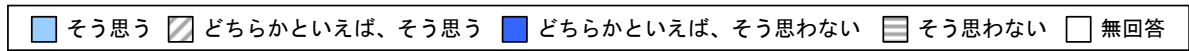
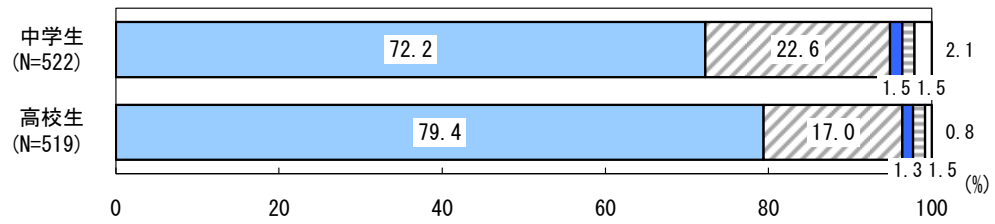
②子どもを育てることは楽しい



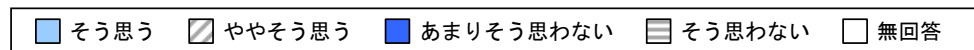
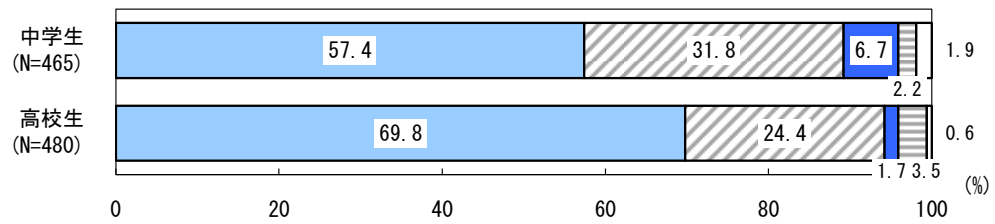
前回 (2018年) 調査



⑨子どもを育てるのは大変そう



前回 (2018年) 調査

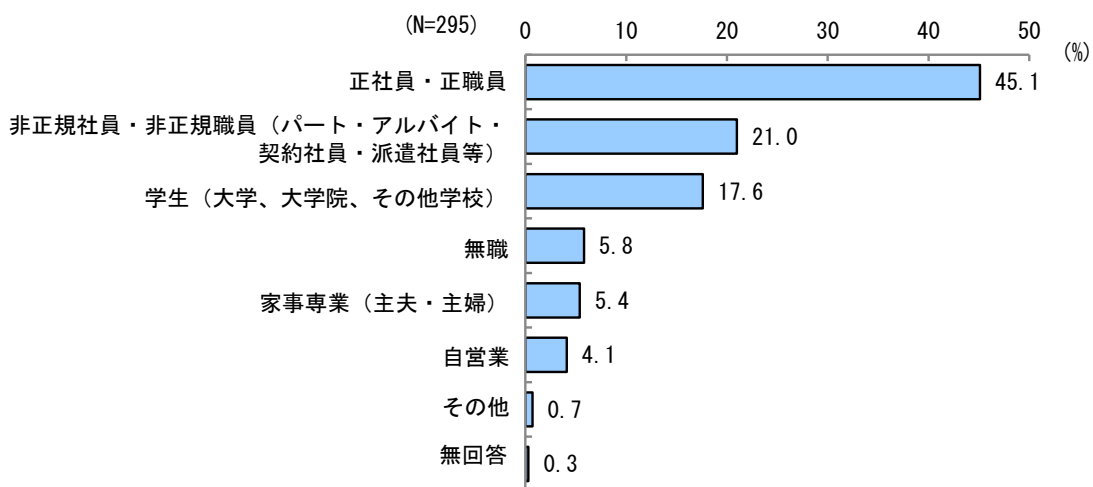


## 若者のみの設問

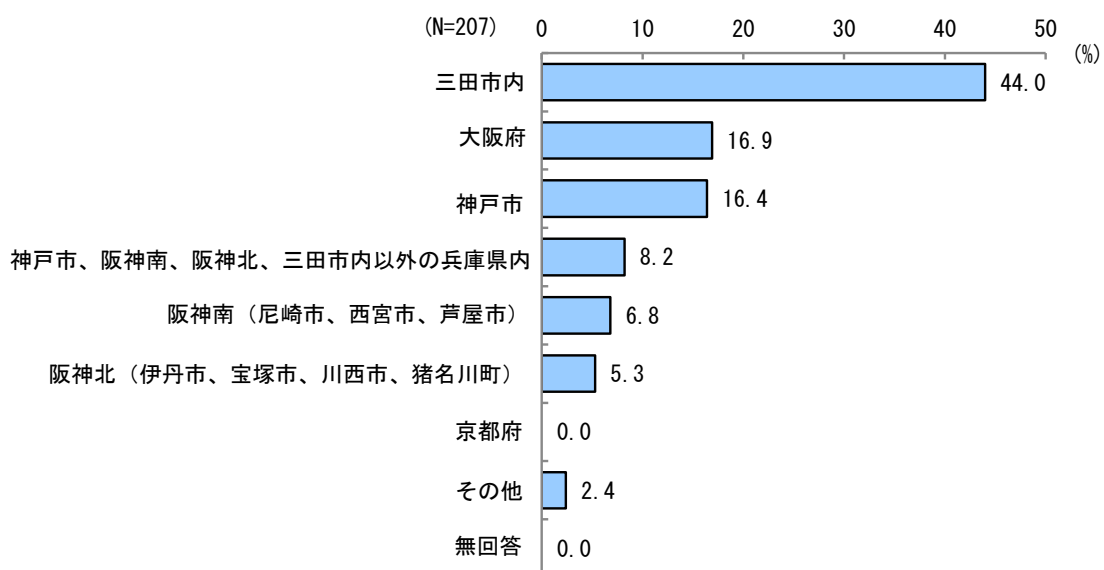
### (1) 職業

- 職業は、「正社員・正職員」が45.1%で最も高く、次いで「非正規社員・非正規職員（パート・アルバイト・契約社員・派遣社員等）」が21.0%、「学生（大学、大学院、その他学校）」が17.6%となっています。（■図表 1-1）
- 「正社員・正職員」「非正規社員・非正規職員」「自営業」の勤務地は、「三田市内」が44.0%で最も多くなっています。（■図表 1-2）

■図表 1-1 あなたの主な職業をお答えください。



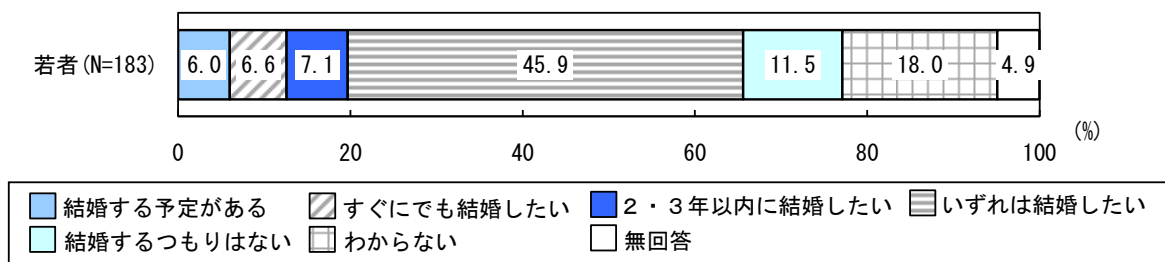
■図表 1-2 あなたの勤務地は次のどれにあたりますか。



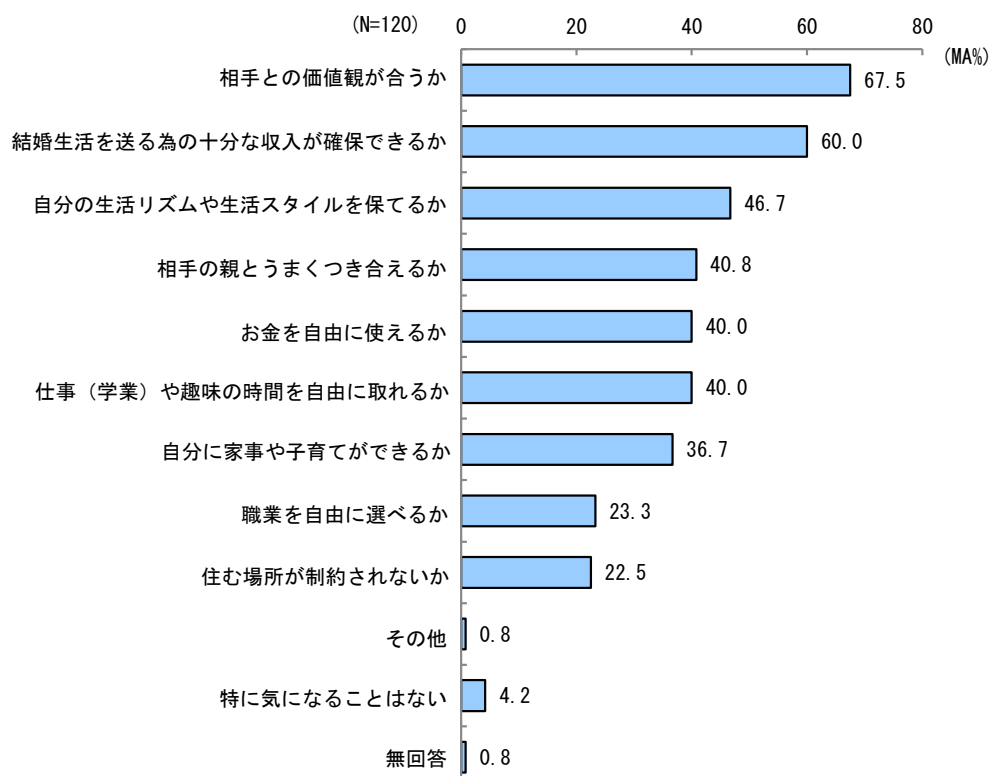
## (2) 結婚に対する考え

- 結婚に対する考え方は、「いずれは結婚したい」が45.9%で最も多く、次いで「わからない」が18.0%となっています。(■図表 2-1)
- 結婚するつもりがある方にとって、結婚を考えたときに気になることは、「相手との価値観が合うか」が67.5%で最も多く、次いで「結婚生活を送る為の十分な収入が確保できるか」が60.0%となっています。(■図表 2-2)
- 独身でいる理由は、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が51.4%で最も多く、次いで「結婚するにはまだ若すぎるから」「仕事（学業）に打ち込みたいから」となっています。(■図表 2-3)
- 今後婚活として行いたいことについては、「婚活をする予定はない」の回答が最も多く、次いで「友人や知りあい等に紹介を頼む」「婚活アプリやSNS等を活用する」となっています。年代別でみると、25～34歳で「婚活アプリやSNS等を活用する」が最も多くなっています。(■図表 2-4)

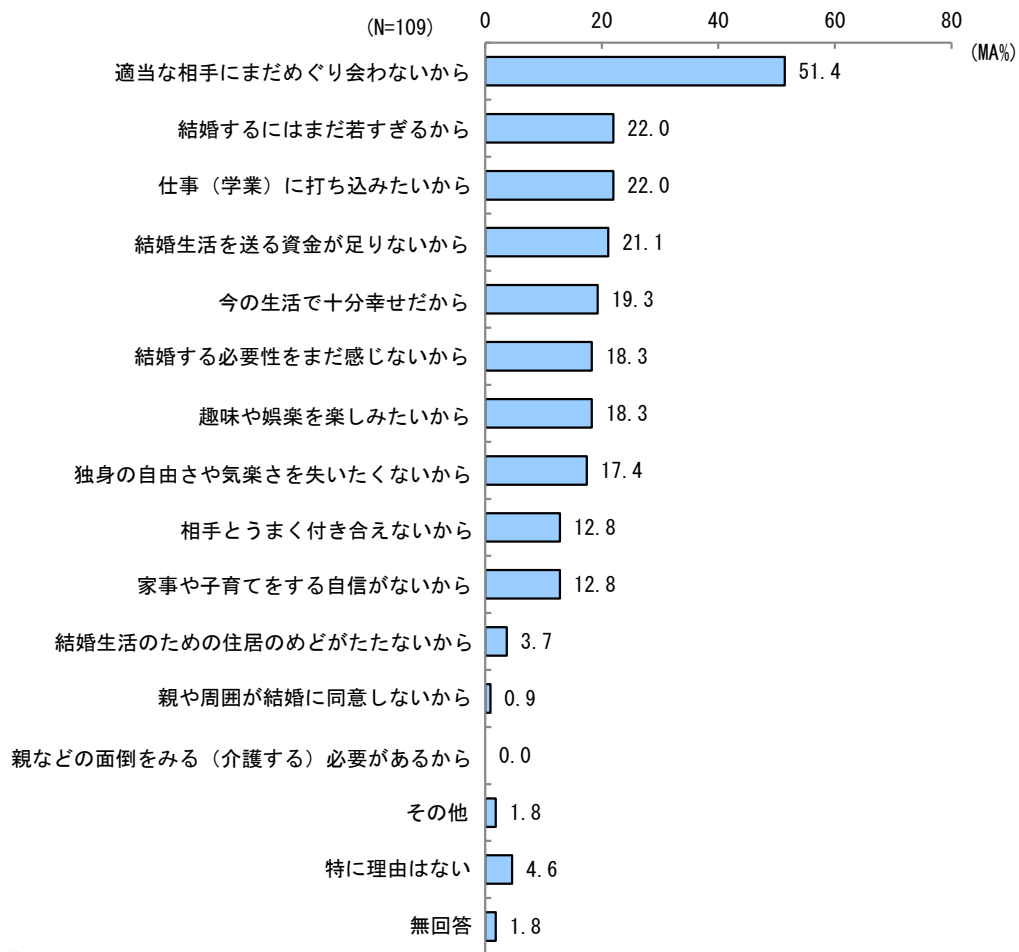
■図表 2-1 未婚の方にうかがいます。結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。



■図表 2-2 あなたが結婚を考えたとき、どのようなことが気になりますか。



■図表 2-3 あなたが現在独身でいる理由を次の中から選ぶとするとどれですか。



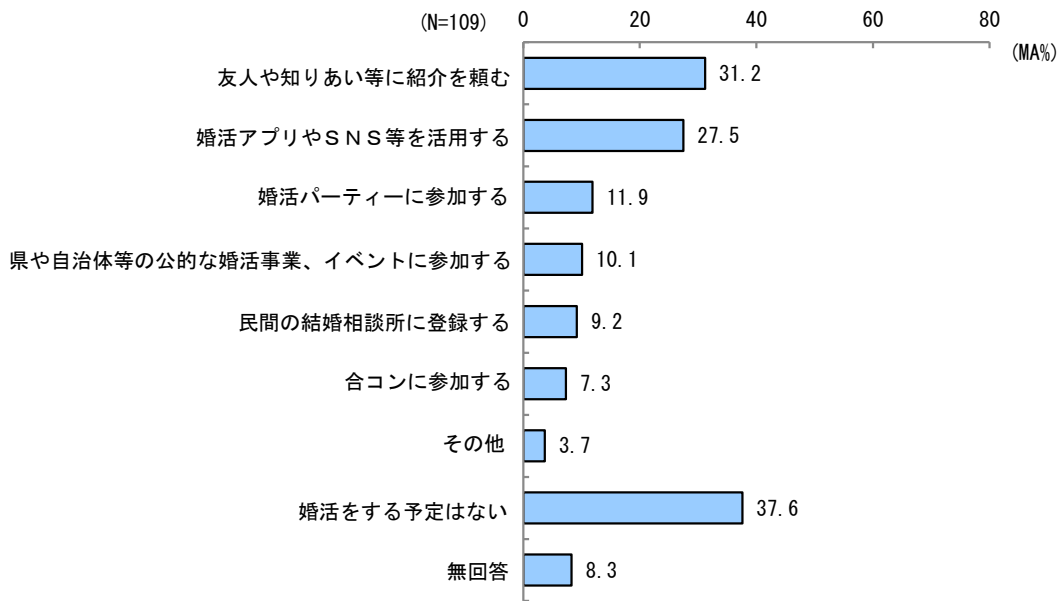
《年代別》

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18・19歳 (N=16)	結婚するにはまだ若すぎるから 68.8	適当な相手にまだめぐり合わないから 仕事（学業）に打ち込みたいから 25.0	結婚する必要性をまだ感じないから 6.3	結婚生活を送る資金が足りないから 0.0	
20～24歳 (N=36)	適当な相手にまだめぐり合わないから 44.4	仕事（学業）に打ち込みたいから 36.1	結婚するにはまだ若すぎるから 33.3	結婚生活を送る資金が足りないから 30.6	結婚する必要性をまだ感じないから 25.0
25～29歳 (N=30)	適当な相手にまだめぐり合わないから 53.3	今の生活で十分幸せだから 趣味や娯楽を楽しみたいから 33.3	結婚する必要性をまだ感じないから 30.0	独身の自由さや気楽さを失いたくないから 23.3	
30～34歳 (N=21)	適当な相手にまだめぐり合わないから 76.2	相手とうまく付き合えないから 28.6	結婚生活を送る資金が足りないから 今の生活で十分幸せだから 23.8	独身の自由さや気楽さを失いたくないから 19.0	
35～39歳 (N=6)	適当な相手にまだめぐり合わないから 66.7	仕事（学業）に打ち込みたいから 今の生活で十分幸せだから 50.0	独身の自由さや気楽さを失いたくないから 家事や子育てをする自信がないから 33.3		

《男女別》

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=48)	適当な相手にまだめぐり合わないから 47.9	結婚する必要性をまだ感じないから 29.2	結婚生活を送る資金が足りないから 27.1	独身の自由さや気楽さを失いたくないから 22.9	結婚するにはまだ若すぎるから 20.8
女性 (N=59)	適当な相手にまだめぐり合わないから 55.9	今の生活で十分幸せだから 25.4	仕事（学業）に打ち込みたいから 趣味や娯楽を楽しみたいから 23.7	結婚するにはまだ若すぎるから 22.0	

■図表 2-4 あなたは、今後、婚活としてどのようなことを行いたいですか。



《年代別》

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18・19歳 (N=16)	友人や知りあい等に紹介を頼む 12.5	婚活アプリやSNS等を活用する、婚活パーティーに参加する 県や自治体等の公的な婚活事業、イベントに参加する、合コンに参加する			6.3
20～24歳 (N=36)	友人や知りあい等に紹介を頼む 36.1	婚活アプリやSNS等を活用する 13.9	合コンに参加する 11.1	県や自治体等の公的な婚活事業、イベントに参加する 5.6	婚活パーティーに参加する 0.0
25～29歳 (N=30)	婚活アプリやSNS等を活用する 53.3	友人や知りあい等に紹介を頼む 36.7	婚活パーティーに参加する 民間の結婚相談所に登録する		県や自治体等の公的な婚活事業、イベントに参加する 6.7
30～34歳 (N=21)	婚活アプリやSNS等を活用する 38.1	婚活パーティーに参加する 23.8	友人や知りあい等に紹介を頼む 県や自治体等の公的な婚活事業、イベントに参加する	16.7	民間の結婚相談所に登録する 19.0
35～39歳 (N=6)	友人や知りあい等に紹介を頼む 66.7	婚活パーティーに参加する 県や自治体等の公的な婚活事業、イベントに参加する	33.3	民間の結婚相談所に登録する 合コンに参加する 16.7	

《男女別》

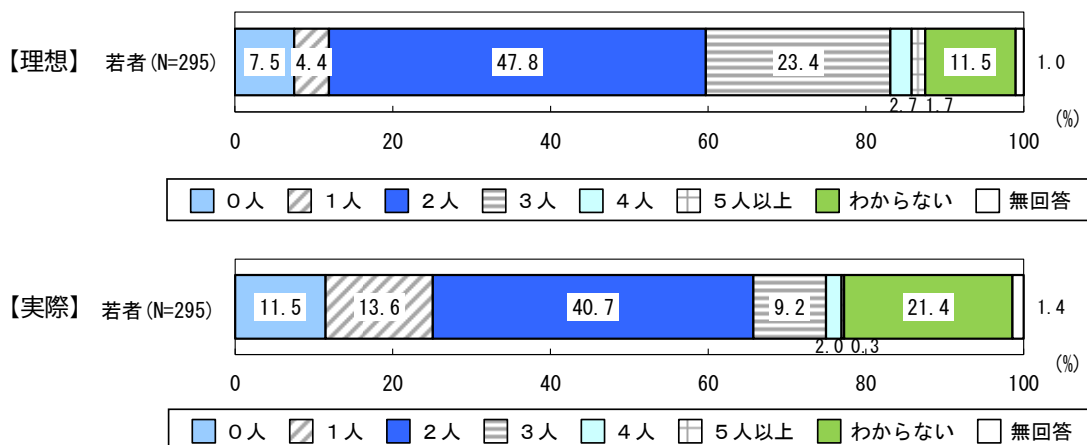
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=48)	友人や知りあい等に紹介を頼む 27.1	婚活アプリやSNS等を活用する 18.8	県や自治体等の公的な婚活事業、イベントに参加する 16.7	婚活パーティーに参加する 14.6	民間の結婚相談所に登録する 12.5
女性 (N=59)	婚活アプリやSNS等を活用する 35.6	友人や知りあい等に紹介を頼む 33.9	婚活パーティーに参加する 10.2	合コンに参加する 8.5	民間の結婚相談所に登録する 6.8

※年代別、男女別の順位は、「婚活をする予定はない」を除いています。

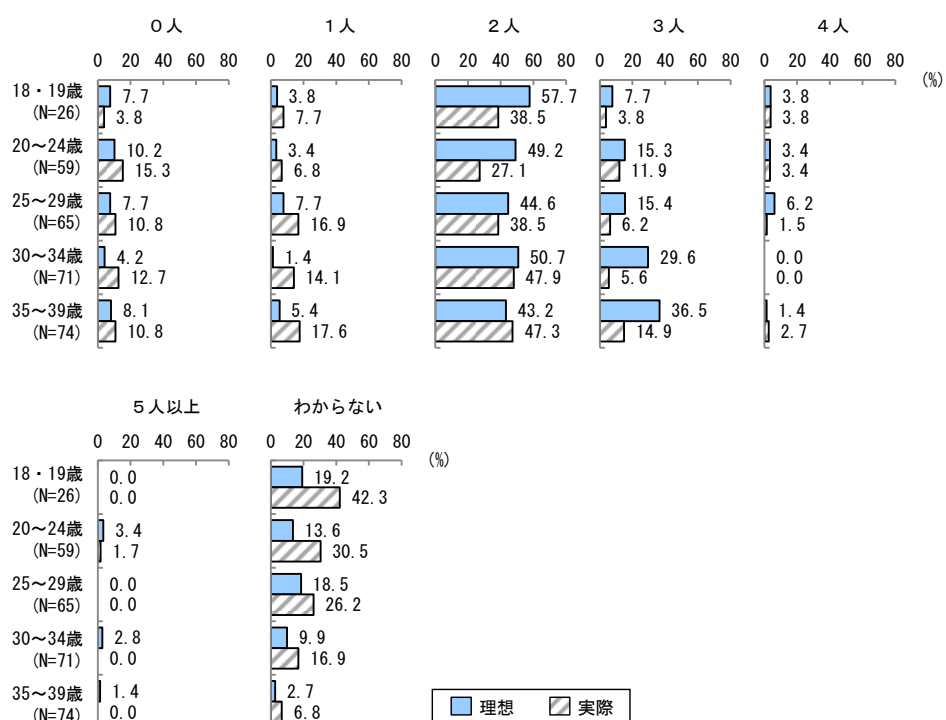
### (3) 子どもを持つことに対する考え

- 理想とする子どもの人数は、「2人」が47.8%で最も多く、次いで「3人」が23.4%となっています。  
実際に持つつもりの子どもの人数も、「2人」が40.7%で最も多く、次いで「わからない」(21.4%)となっています。(■図表 3-1)
- 子どもを持つつもりがない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が65.0%で最も多く、次いで「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」が60.0%となっています。(■図表 3-2)
- 理想としている子どもの数より実際に持つつもりの子どもの数が少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が91.0%を占めています。(■図表 3-3)

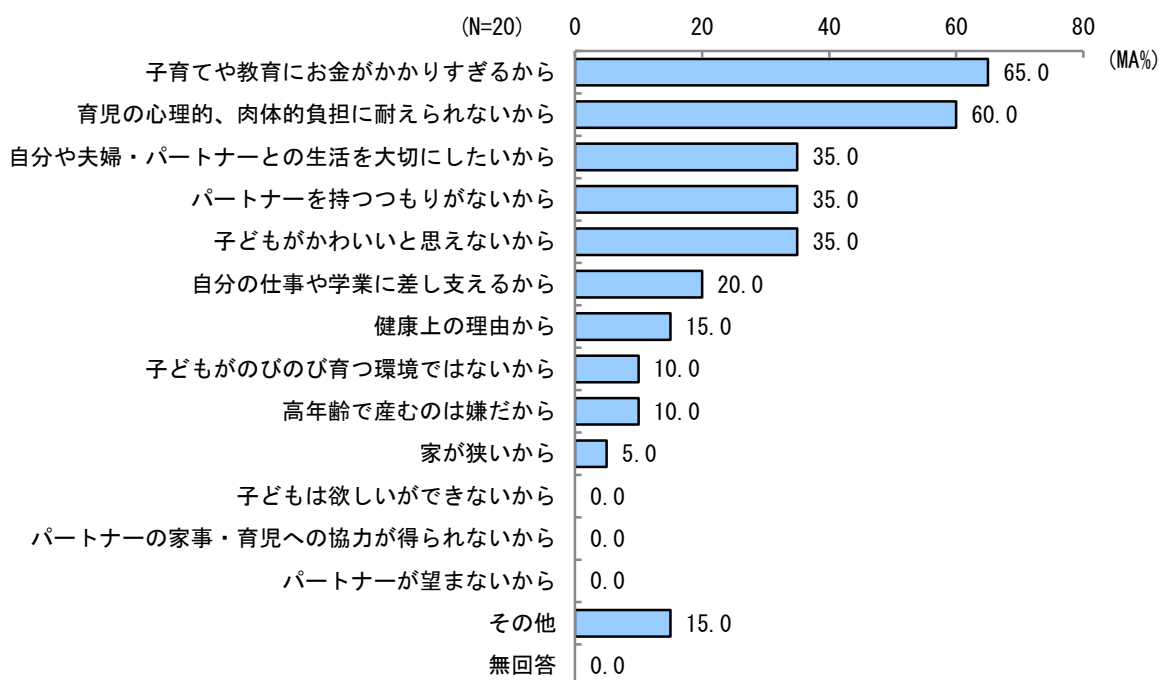
■図表 3-1 あなたにとって「①理想とする子どもの人数」と「②実際に持つつもりの子どもの人数」は何人ですか。



#### 《年代別 理想と実際に持つつもりの子どもの人数》



■図表 3-2 子どもを持つつもりがないのはどのような理由からですか。



■図表 3-3 理想としている子どもの数より、実際に持つつもりの子どもの数が少ない理由は何ですか。

